



# オランダだっ！



オランダのアムステルダムに移住してきて、3週間ちょっと経ちました。日本人はオランダに馴染みやすいのか、私が旅慣れしているからなのか、これまで何度も訪れたことあるからなのか、英語で全く困らない環境だからなのか、オランダでの生活は特に困難や混乱なく、スムーズに感じます。

そのため、今のところ「こんなすごいものがある!!!」「日本にあったアレがない!!!」みたいな驚きは経験していませんが、オランダに深く浸透しながら、じわじわと見つけていこうと思っています。



## オランダってどこ？

アムステルダムの北緯52度（北海道の稚内で北緯45度なので、随分北ですね

北緯52度の下では、

夏至点時の可照時間は16時間44分で、  
冬至点時は7時間45分！！

夏は遅くまで明るく、  
冬は明るい時間がとても短い  
(しかも、曇りが多くどんより)

## オランダってどこ？

オランダが位置するのは、西ヨーロッパの中央。東にドイツ、南がベルギー。

その更に南がフランス（パリまで3時間半、京都に行く感覚でパリに行けます♡が、まだ行ってません）海を挟んで西にイギリス。（ロンドンまで5時間ちょっと）



### 【オランダ基礎データ】

- ・オランダの国土は九州とほぼ同じ
- ・人口1,747万人（九州の人口1,426万人）
- ・首都はアムステルダム（だけど実質はハーグ）
- ・公用語はオランダ語
- ・オランダ人の半数以上が無宗教
- ・オランダ人は背が高い
- ・オランダ人の約90%が英語話せる
- ・日本との時差は8時間（夏は7時間）

# オランダ王国について

## 国名から見る「オランダ」

オランダの正式名称は、外務省 (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/netherlands/data.html>) によるとオランダ王国。そう、王国なので、王様がいる国です。そして現在の国王、ウィレム=アレクサンダーご一家の居住地は、ハウステンボス宮殿。(ハウステンボス宮殿、なんて馴染みのある響きでしょうか！)

オランダ王国、英語表記だと「Kingdom of the Netherlands」で、それを日本語にするとネーダランド王国(オランダ語では、ネーデルラント)という感じなのですが、なぜ日本語表記は「オランダ」なのでしょう。

現在のオランダが位置する地域は、紀元前のローマ帝国の頃から歴史に登場し、森林が多い低地だったので、「ネーデルラント(低地地方)」や「ホラント(森の地または窪地)」という地名が生まれます。(ネーデルラントの方が広域で、ホラントはネーデルラントの一部なことを表すことが多いようです) 中世にはフランク王国を経て、神聖ローマ帝国のホラント伯領が、ブルゴーニュ公爵領ネーデルラントの一部となり、その後、ハプスブルク領ネーデルラントとなります。

16世紀後半(日本が戦国時代だった頃)、ネーデルラントはスペイン(スペイン・ハプスブルク家の支配)から独立するために戦争し、この独立戦争の際にホラント州が重要な役割を果たしたことから、スペインなどの国々からの俗称としてホラントと呼ばれます。

この俗称ホラントを戦国時代に日本にやってきたポルトガル宣教師がポルトガル語読み「Holanda(オランダ)」と伝えたことから、日本では「オランダ」という呼び方が定着しました。(オランダ政府は2020年「ホ

ラント」の使用を廃止しましたが、日本語で「オランダ」と呼ぶことは認められているそうです)

このようにオランダ国名のことをのぞっくり調べるだけで、ローマ帝国だったり、フランク王国だったり、ブルゴーニュ公爵領だったり、ハプスブルク領だったり、今でいうイタリア、ドイツ、フランス、オーストリア、スペインなどが複雑に絡みあっていて、(島国ではない)大陸だなあと感じました。

そして、「Kingdom of the Netherlands」とネーデルラントの最後に複数形の「s」がついていて(オランダ語の正式名称でも、ネーデルラントと複数形となっています)、これはオランダ王国が、ヨーロッパにある国土(オランダ)だけでなく、カリブ海にあるオランダの領地アルバ、キュラソー、シント・マールテンを含めているからだそうです。(恥ずかしながら、今回調べるまでオランダが今も海外に領土を持っていることを知りませんでした。)

次回の「オランダだっ」は、かつてのオランダの植民地について、お伝えしたいと思います。

### 【あとがき】

今回は、オランダについての基本情報のみで、最初にお伝えしていた「オランダで生活する中で見たこと、気づいたこと、おもしろいと思ったことなど」はお伝えできませんでしたが、次回は「オランダでの生活」や「オランダの食べ物」について、書く予定です。

この「オランダだより」は、私がオランダ移住を決めてから、オランダや輸出に関わるつながりからご縁のあった方々にお送りしています。

一部文章や画像などの無断転載はご遠慮ください。

オランダやヨーロッパへ日本からの輸出や、日本への輸入に関して、またはオランダの市場や文化に関することなどお知りになりたいことがございましたら、お気軽にご連絡くださいませ。



Purplea+

Shino  
<https://purplea.net/>